

木もれ陽

第 275 号

2026.3.1

泉公民館

〒329-2504 矢板市泉 526

TEL：0287-43-0402

■泉地区むらづくり 新春講演会 — 笑いと学びの 90 分 参加者 116 名 —

●笑っぱなしの 90 分

令和 8 年 1 月 7 日、泉公民館で、栃木放送やとちぎテレビで活躍されている嶋均三さんを講師にお迎えし、「新春講演会」を開催しました。会場は終始笑いに包まれ、お腹がよじれるほどの“笑っぱなし”の 90 分となりました。



●標準後も話せる？

ラジオ放送での語り口から「強烈な栃木なまり」を思い浮かべていましたが、嶋さんは東京で働かれたご経験や司会業のご経験もお持ちで、言葉やイントネーションを巧みに使い分けてお話しされる姿がとても印象的でした。



●嶋さんの「栃木愛」

幼くしてお母さまを亡くされた嶋さんを愛情いっぱい育ててくれた「おづる婆っば」に「栃木弁の英才教育」を受けたそうです。方言を「言語」として研究されている視点から、内容を分かりやすく、そして楽しく解説していただき、笑いの中にも、郷土への思いあふれる「栃木愛」がしっかりと伝わってきました。ぜひまた嶋さんのお話をお聞きしたいと思います。

■ 元気塾：健康食講座 「高齢者向けのバランスの良い食事(災害時)」

2月4日(水)、元気塾の講座として「高齢者向けのバランスの良い食事(災害時)」を開催しました。

当日は、災害時の食事について、健康増進課の小森管理栄養士より講話がありました。

災害時はいつもの食事が難しくなりがちですが、体調を保つためにも、できる範囲で栄養バランスを意識することの大切さを学びました。

なお、当日は食生活改善推進員の方5名にもサポートに入っていていただき、参加者の学びを支えてくださいました。



講話の後は調理実習を行い、ビニール袋を使って白米・カレー・プリンを作りました。限られた環境でも工夫しながら調理できることを、実際に手を動かして確認する機会となりました。

また、デモンストレーションでは、パスタの調理法、水で作る即席ラーメン、スナックを活用した副菜作りなど、災害時にも取り入れやすいアイデアを紹介いただき、参加者からは「家でも試してみたい」との声も聞かれました。

今回の講座では、災害への備えとして、家庭で最低「3日分」の備蓄を進めていくことが呼びかけられました。あわせて、家庭備蓄の実践アイデアについても資料提供があり、改めて「いつ起こるかわからない災害」に向けた心構えを学ぶ有意義な時間となりました。

●資源ごみの分別回収のご協力お願い！！

- ペットボトル
- アルミ缶
- 新聞紙
- 雑誌・段ボール
- 食品トレイ
- 牛乳パック
- 一升瓶



はそれぞれ分別して指定の場所に置いてください。

粗大ごみ・発泡スチロール・卵パックは回収不可です。



■みらいのたね:拓本エコバック作りに挑戦！！

2月1日(日)、泉公民館にて「みらいのたね 拓本エコバック作りに挑戦！！」を開催しました。

生涯学習課の津野田学芸員を講師にお迎えし、土器の破片などを使った拓本(たくほん)を体験しました。

拓本とは、土器や石碑などの表面にある模様や凹凸(おうとつ)を、紙や布の上に写し取る方法です。対象物に布をあて、上から墨やインクを軽くのせることで、模様が浮かび上がります。

土器の模様を出すのに苦戦する場面もありましたが、試行錯誤しながら、世界にひとつだけの拓本エコバックが完成しました。

参加者からは、「矢板の土器を使って体験できてわくわくした」「貴重な体験ができた」といった声が聞かれました。

ご参加くださった皆さま、ありがとうございました。

なお、「みらいのたね」は今年度最後の開催となりましたが、来年度も開催予定です。ぜひご参加ください！



■いずみ・時の旅

■ 田野原観音堂



この観音堂は、旧泉中学校のすぐ東隣に建っており、建物と格天井が矢板市の文化財に指定されています。観音堂は明暦年中(1655~1657)に火災

にあい、安永10(1781)年に移転再建されました。総ケヤキ作りで、茅葺屋根であったものを平成7年に改修し、瓦葺としました。また、格天井は9面×9面の81枚の花鳥図が描かれています。作者の「中村霞山」は、天保2(1831)年生れで、喜連川藩の御用絵師であった津村雨林の元で南画を学びました。牧野牧陵とは画兄弟の関係にあり、「清牧」と名乗りました。その後江戸に出て研さんを積み、花鳥を得意とする画家となり、雅号を霞山と改めました。元治元(1864)年に田野原にやって来て、渡辺弥五兵衛宅に滞在します。明治3年に重病に侵されたために、この観音堂に平癒祈願したところ全快し、その報恩のためにこの花鳥を描きました。しかし、明治4年に弥五兵衛が亡くなってしまいましたので、同じ田野原の片山家に転居、その翌年にこの格天井が完成しました。



その後旧馬頭町の横山家に転居しますが、明治8年に44歳で亡くなりました。墓は同町の乾徳寺内に建てられました。法名は靈章院悟法霞山居士。また、昭和58年に旧馬頭町交流センターで「霞山展」が開催されましたが、その際に本市から8点が出品されております。

またこの観音堂の北側には、弓道日本一となった山口太郎二をたたえる額が掛けられています。山口は明治35(1902)年に京都三十三間堂で開催された通し矢大会で優勝。この大会は、三十三間堂の端から端まで一晩中かけて矢を射るという過酷なもので、その距離は121mもありました。昭和6年に63歳で亡くなっております。

郷土史家：白石・記



● 編集後記

春の訪れを感じる季節となりました。今年度も講座や行事を通して、皆さまの笑顔に支えられた一年でした。ご参加・ご協力くださった地域の皆さまに心より感謝いたします。来年度もどうぞよろしく願いいたします。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。皆さまどうぞご自愛のうえ、健やかな春をお迎えください。

泉駐在所だより

矢板警察署
泉駐在所
0287-43-2144

みんなでとめよう！！

国際電話詐欺

#みんとめ

+(国番号)から始まる
国際電話番号に注意！

詐欺の犯人は国際電話番号を使って詐欺の電話をかけています。

特殊詐欺の犯行に利用された
国際電話番号の件数
(前年比)

増加傾向

被害の多くは
60~80歳代

固定電話

20~30歳代の
被害が増加

スマートフォン

◆ 携帯電話機の発着信設定を正しく行いましょう。

◆ キャリアの着信拒否サービスや電話着信規制アプリのご利用をおすすめしています。

国際電話不取扱受付センター
0120-210-364

オペレーター案内 平日9:00~17:00
自動音声案内 平日・土日祝24時間

Webからの申込み
<https://www.kokusai-teishi.com>

警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ

<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/sos47/case/international-phone/>

みんとめ



泉公民館

〒329-2504 矢板市泉 526

TEL 0287-43-0402